

進路だより

県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科
学習支援グループ 令和4年5月13日発行（第223号）

【全年次向け】

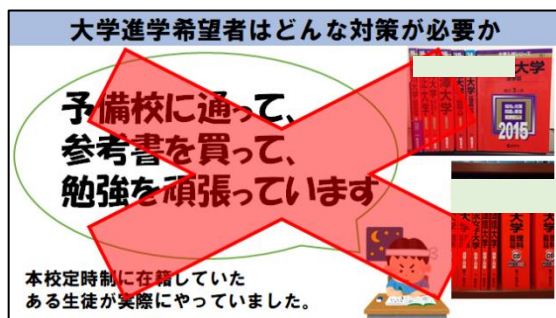
Classroomでも配信しています。

大学進学は「学校推薦型選抜」「総合型選抜」を活用しよう！

大学に入る準備と聞くと、「一般選抜対策」「大学入学共通テスト対策」が必要と考え、予備校に通い始めたり、過去問などを購入して、急に勉強を始めようとする生徒がいます。

これは決して悪い事ではなく、勉強に取り組もうとする姿勢は大切です。しかし、本校から大学に進学するにあたって、合格しやすいかどうかという、別問題です。

これから大学進学を目指す生徒は「学校推薦型選抜」「総合型選抜」の活用を検討しましょう。



大学進学希望者はどんな対策が必要か		
本校定時制で 大学進学をした生徒の取組例		
推薦 入 試	指定校推薦	ほとんどの生徒が 学校推薦 総合型選抜 を利用している
	公募制推薦	
	自己推薦	
総合型選抜 <small>(IBAO入試)</small>		

(1) 「学校推薦型選抜」「総合型選抜」はどんな制度？

① 「学校推薦型選抜」

高校での成績や取り組みをもとに、受験生の意欲や個性を測る入試です。これまでの頑張りや、自分の強みを評価してもらえるチャンスです。選考方法は書類審査・小論文・面接が行われる場合が目立ちます。

② 「総合型選抜」

大学が求める人物像（アドミッション・ポリシー）に合う高校生に入学してもらう入試です。求める人物像は大学・学部学科によってさまざまですが、「新しい環境に挑戦する意欲がある」「特定の分野に強い関心と研究意欲がある」「特定の技術や資格」等、多岐にわたります。選考方法は、書類審査や小論文、面接などが一般的ですが、大学によってさまざま、プレゼンテーションやレポートなどの提出を求められる場合もあります。

(2) 「学校推薦型選抜」「総合型選抜」を勧める理由

本校の授業内容だけでは「一般選抜」「大学入学共通テスト」に対応できない点が理由としてあります。予備校に通って合格を目指した生徒もいましたが、必ずしも思うような成果はでませんでした。

学校推薦型選抜を利用すると、高校での取り組みの成果を長期的な視点で評価してもらうことができます。また、総合型選抜を利用した場合には、進学を希望する大学が「ぜひこの生徒に入学してもらいたい」と思うような普段の取り組みが、合格への近道となります。

なお、過去10年間で本校定時制から大学に進学した生徒は、すべてのケースで「学校推薦型選抜」および「総合型選抜」となっています。

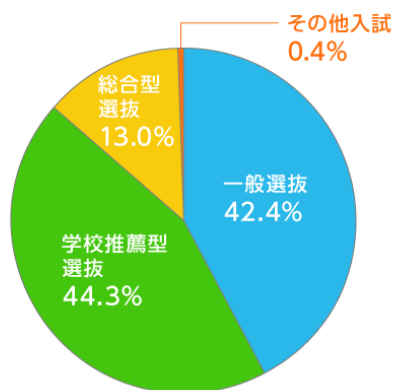
(3) 「学校推薦型選抜」「総合型選抜」による入学者の割合

次の円グラフは選抜方式ごとの入学者の割合です。

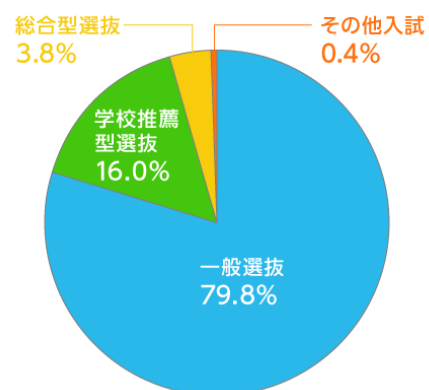
[右の円グラフ] 国公立大学は一般選抜による入学者が8割近くを占めています。

[左の円グラフ] 私立大学においては「学校推薦型選抜」「総合型選抜」が入学者の6割近くを占めており、その割合は毎年徐々に増えてきています。

選抜方式ごとの入学者の割合(私立大学)



選抜方式ごとの入学者の割合(国公立大学)



文部科学省「平成31年度国公立大学入学者選抜実施状況」「平成31年度公私立短期大学入学者選抜実施状況」※「その他入試」は専門学校・総合学科卒業生入試、帰国子女入試、社会人入試ほか ※大学入学共通テスト(旧:センター試験)は一般選抜に含まれます。